



## 一生懸命はかっこいい!

本年度の地区総体は、先週の大雨の影響を受け、7月14日～16日の開催となりました。それぞれの部活動が、県大会への出場権をかけて熱い闘いを繰り広げました。猛暑の中、この総体が中学校における部活動の集大成となる3年生の勇姿が、特に目立ちました。

団体戦では、右の五つの部活動が激戦を制し、県大会への切符を獲得しました。コートやグラウンドに立ったメンバーの力だけでなく、ベンチも、応援も一丸となった、チーム全体の勝利です。本当におめでとうございます。

### 《県総体に出場する部活動（団体の部）と地区大会の戦績》

・男子ソフトテニス部	第2位
・男子バレーボール部	第2位
・バスケットボール部	第3位
・女子バレーボール部	第3位
・女子剣道部	第3位

また、個人種目や個人戦で県総体出場が決まった人もたくさんいます〔陸上部、ソフトテニス部、卓球部、新体操部（校外部）、バドミントン部（男子校外部）、柔道部（校外部）〕。

県大会は、詫間中学校の代表であるばかりでなく、三観地区の代表としての出場となります。新たな目標を胸に、これまで共に競い合った相手チーム（選手）の分まで、頑張ってきてほしいと思います。

一方、県大会への出場がかなわなかった皆さん、暑い熱い中での闘いお疲れ様でした。「一生懸命」がんばったゆえの悔し涙もあったことでしょう。スポーツには勝敗がつきものです。優勝する1チーム（選手）を除いて、残りのチーム（選手）はどこかで負けるわけです。しかし、これまでのがんばりは、決して無駄にはなりません。3年生の皆さんは、これまで2年半、部活動でがんばってきた「一生懸命」な姿を、今後の進路や学校生活の様々な場における「一生懸命」な取組につなげてくれると信じています。

また、文化部のみなさんも、これからのコンクールや文化祭等に向け、「一生懸命」がんばっています。細かいところまで注意を払い、最後に自分たちの力を出し切れることを期待しています。

## 2018 読書の夏

じっくり時間の取れる夏休みは、まとまった量の読書をするのに最適な時期です。各分野で一流になった人が共通に語るのは、ある時期に集中してその分野の本を、手当たり次第に読みあさったということです。例えば、世界一の企業を目指しているソフトバンクの創業者、孫正義さんは、病気で入院中に読書に励み、歴史物、コンピュータ関連書などを4000冊ほど読んだと言われています。その圧倒的な読書量が、現在の驚異的な成功につながったようです。世界一や日本一を目指さないまでも、一つの本を300冊読むと、その分野の専門家になれると言われるくらいです。

この夏休みに、興味・関心のある分野の本を集中して数多く読んでみましょう。みなさんの人生が変わるかもしれません。ネットからも断片的な情報を得ることはできますが、情報をきちんと積み重ねて整理し、自分のものとして身に付けて使いこなすためには、絶対に読書が有効です。

何を讀んだらよいかのわからない人は、次のリスト等を参考にしてください。あなたは、この夏、どんな本を読みますか？ さあ、リストアップを始めましょう。

- |                      |                              |
|----------------------|------------------------------|
| ○ 蜘蛛の糸・杜子春（芥川龍之介）    | ○ 自分の感受性くらい（茨木のり子）           |
| ○ スローカーブを、もう一球（山際淳司） | ○ 青春デンデケデケデケ（芦原すなお）          |
| ○ そうだったのか！現代史（池上 彰）  | ○ ダレン・シャン ー奇怪なサーカスー（ダレン・シャン） |
| ○ 三十一文字のパレット（俵 万智）   | ○ まちがったっていいじゃないか（森 毅）        |
| ○ 名人伝（中島 敦）          | ○ 八日目の蝉（角田光代）                |
| ○ 藤十郎の恋・恩讐の彼方に（菊池 寛） | ○ 平家物語を読む ー古典文学の世界ー（永積安明）    |

【香川の子もたちに読んでほしい100冊（中学生からの40冊）より】